

平成30年4月5日会議概要

第1 日時

平成30年4月5日（木）午前9時00分から午後2時10分までの間

第2 出席委員

石川委員長、渡部委員、平林委員、長谷委員、森委員

第3 全体会議

[警察幹部出席者]

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、近畿管区警察局京都府情報通信部長

1 委員報告

(石川委員長) 3月30日、平成29年度京都府警察退職者表彰式と京都府警察退職者に感謝し送る会に出席しました。表彰式では、退職者一人一人の名前が読み上げられるのを拝見しましたが、皆様の顔には永年勤続の重み、深みとともに安堵感を感じました。それに加え、自分の人生の大半をかけて、京都府民の安全・安心をしっかりと守ってきたとの自負心も強く感じたところです。心から感謝申し上げます。

第二の人生では、それぞれの道で活躍していただき、我々に対して必要な意見を述べていただければ幸いですと思いました。

(渡部委員)「退職者に感謝し送る会」という形で先輩方を送られることは、本当に良いことであると思います。半生をかけて警察の仕事をしてこられた顔には、一抹の寂しさも感じられましたが、にこやかでありました。

(平林委員) 機関誌「平安」の退職者紹介コーナーを拝見しましたが、皆さんの顔は、警察官を勤めあげたという誇りに満ちあふれ、また、コメントには、先輩・同僚に対して感謝の言葉を書いておられたのが印象的でした。

今回、送る会に出席し、会の最後で、出席された退職者の方全員と握手しましたが、皆さんの手からは仕事の重みを感じました。

(長谷委員) 送る会に出席させていただきました。毎年感じるのですが、60歳はまだまだ若いと思います。現在、定年の延長が検討されているところですが、今後の成り行きに関心を持ちたいと思います。

2 報告事項

(1) 連続消火器噴霧（器物損壊）事件の検挙と再非行防止対策について

生活安全部長から、平成29年12月24日から26日にかけて、向日町警察署及び南警察署管内において、自治体等が公共の場に設置している消火器を持ち出し、公園や道路上等に噴霧して使用不能にするなどし、住民に不安を与えたとして、非行少年グループのメンバーを検挙、補導するとともに、平成30年3月25日、再非行防止対策として、保護者及び少年ボランティア等とともに少年らによる公園の清掃活動や再非行防止会議を実施したことについて報告があった。

(2) 平成30年度京都府警察嘱託警察犬嘱託書等交付式の開催について

刑事部長から、犯罪捜査、行方不明者の捜索、警衛警護など多くのニーズに迅速かつ的確に対応するため、直轄警察犬のほかに、民間で訓練されている優秀な犬を警察犬として囑託し、各種警察活動に従事させているが、平成30年4月17日、警察学校において平成30年度の囑託警察犬囑託書等交付式を開催する旨の報告があった。

(3) 強制わいせつ事件被疑者の検挙について

刑事部長から、平成29年6月15日、京都府木津川市内の路上において、歩行中の女子学生の後方から抱きつく等のわいせつ行為をしたとして、平成30年4月4日、男を強制わいせつで逮捕した旨の報告があった。

(4) JR西日本京都駅に対する恐喝未遂事件被疑者の検挙について

刑事部長から、平成30年3月5日、JR西日本京都駅長宛に、「爆弾を設置した。現金3億円を持参しろ。」などと記載された封書を郵送し、また、同月8日、JR東海京都駅長宛に、「爆弾設置を増やした。」「4億円を持参しろ。」などと記載した封書を郵送して、同社から現金を喝取しようとしたとして、同年4月3日、無職の男を恐喝未遂で逮捕した旨の報告があった。

(5) 運転適性相談窓口の設置について

交通部長から、高齢化社会に伴い、高齢運転者から運転免許証の自主返納や運転継続に関する相談等が年々増加しており、これらの相談に的確に対応するとともに、高齢者による交通事故を防止するため、運転免許証に関する様々な相談を積極的に受け付けることを目的として、各警察署交通課に運転適性相談窓口を設置したことについて報告があった。

石川委員長から、「今後、ますます運転免許証の自主返納者が増えてくると思う。自主返納する高齢者だけではなく、家族からの相談に対してもしっかりと話を聞いてほしい。」旨の発言があった。

3 本部長報告

本部長から、

- 新警務部長を迎え、この新たなメンバーで、公安委員会の管理の下、府警の舵取りという重責をしっかりと果たしてまいりたい。

今年度は、早々に4月から6月にかけて、南北首脳会談、米朝首脳会談等が予定されており、朝鮮半島情勢が大きく動く可能性がある。京都は日本海側に300キロメートルを超える海岸線を有しており、半島情勢が直接府内の治安に影響を及ぼすことから、国際情勢を注視しながら、その影響を見極めたい。

また、国政レベルでは、公文書の在り方が問われる事態が続発しているが、府警としても警察行政の透明性、説明責任を果たすという観点から、組織管理、業務管理に遺漏無きよう、しっかりと対応してまいりたい。

旨の報告があった。

第4 個別会議等

1 審議事項

(1) 運転免許の停止処分に対する審査請求について

監察官室訟務官（審理官）から、道路交通法の規定に基づく運転免許の停止処分を受けた者（1件1人）から、原処分を不服として、審査請求がなされたことに伴い、審査

請求の趣旨、理由、調査結果等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を裁決した。

(2) 放置違反金の納付命令に対する審査請求について

監察官室訟務官（審理官）から、道路交通法の規定に基づく放置違反金の納付命令を受けた者（1件1人）から、原処分を不服として、審査請求がなされたことに伴い、審査請求の趣旨、理由、原処分の内容等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を裁決した。

(3) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、21件の行政処分を決定した。

2 報告事項

(1) 広報手帳（平成30年版）の配布について

広報応接課担当補佐から、新たに作成された平成30年版の広報手帳に関して、新しい掲載項目等や配布先について報告があった。

(2) 近畿管区内公安委員会連絡会議に伴うレクチャー

平成30年4月20日に兵庫県で開催される近畿管区内公安委員会連絡会議の討議テーマに関して、交通部次長から「高齢者運転対策について」の説明があった。

(3) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室室長補佐から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

3 検討

平成30年5月28日、29日の両日、京都市内で開催される16都道府県公安委員連絡会議について検討した。